

2024 年度秋の三者総会 議案書

2023 年 10 月 28 日（土）～11 月 4 日（土）開催

本議案書は、2024 年 10 月 28 日（土）～11 月 4 日（土）開催の、2023 年度秋の三者総会に提出されたものである。

目次

1 2024 年度決算

1.1 収支の概要

1.2 収入

1.3 支出

2 2024 年度予算案

2.1 収入予定（概算）

2.2 支出予定

3 ローテーション制制定に向けた未決定事項の報告及び提案

3.1 議案

1 2023 年度決算

2023 年 10 月 18 日
文責：羽生田典麻 (名古屋大学)

2023 年度決算書を以下の通り提出いたします。何卒ご承認をよろしくお願い申し上げます。

1.1 収支の概要

- (+) が収入を、(-) が支出を表す。

項目	本年度決算	前年度決算
参加登録費	+¥1,232,000	+¥0
素粒子論グループ援助金	+¥450,000	+¥54,000
基研援助金	+¥441,009	+¥99,650
日本物理学会原稿料	+¥3,000	+¥3,000
前年度繰越し金	+¥837,855	+¥810,913
旅費補助 (キャリアフォーラム登壇者)	-¥42,000	-¥0
旅費補助 (学生参加者)	-¥872,018	-¥0
ポスター印刷費	-¥33,930	-¥99,650
役職校支出	-¥754,664	-¥30,058
次年度繰越し金	¥1,261,252 *1	¥837,855

*1 適正額を超えた繰越し金については、2024 年度春の学会で素粒子論グループに繰り越しの承認をお願いする予定

1.2 収入

(1) 前年度繰越し金 (2022 年度決算終了時の繰越し金額を記載) : ¥837,855

(2) 参加費 (現地参加者が 272 名+オンライン参加 72 名) :

$$¥4,000 \times 272 + ¥2,000 \times 72 = ¥1,232,000$$

(3) 外部団体からの援助・協賛金 : ¥894,009

団体名	内容	申請額	支援額
素粒子論グループ	旅費補助 *1	¥450,000	¥450,000
基研	講師等旅費, ポスター印刷費 *2	¥500,000	¥441,009
日本物理学会	原稿料	¥0	¥3,000
高エネルギー研究者会議	協賛	¥0	¥0
仁科加速器センター	協賛	¥0	¥0
KEK	協賛	¥0	¥0
RCNP*3	協賛, 原子核研究「夏の学校特集号」出版費	出版費	出版費
合計		¥950,000	¥894,009

*1 秋季学会で申請。

*2 1 月に申請。

*3 春季学会にて申請。

収入合計 : (1) + (2) + (3) = ¥2,963,864

1.2.1 素粒子論グループよりいただいた援助金の用途

素粒子論グループよりいただいた援助金 ¥450,000 の用途の(申請時の)内訳を次の表にまとめる。

項目	金額
旅費補助	¥450,000
合計	¥450,000

1.2.2 基研からの援助金の内訳

基研よりいただいた援助金 ¥441,009 の内訳を次の表にまとめる。

項目	金額
ポスター印刷費	¥33,930
旅費補助	¥407,079
合計	¥441,009

1.3 支出

(1) 旅費補助 : ¥914,018

(2) ポスター印刷費 : ¥33,930

(3) 役職校支出合計 : ¥754,664 (支出の内訳については次の表および次節を参照)

役職名	予算	決算	差額	前年度決算
三者				
センター校	¥3,300	¥2,775	-¥525	¥3,146
事務局校	¥0	¥0	¥0	¥0
準備校	¥632,485	¥682,470	+¥49,985	¥24,962
企画校	¥10,380	¥11,337	+¥957	¥0
素粒子論パート				
準備校	¥9,234	¥4,914	-¥4,320	¥1,950
講義録校	¥33,116	¥37,522	+¥4,406	¥0
原子核パート				
センター校	¥0	¥0	¥0	¥0
準備校	¥5,000	¥15,646	+¥10,646	¥0
合計	¥693,515	¥754,664	+¥61,149	¥30,058

支出合計 : (1) + (2) + (3) = ¥1,702,612

次年度繰越し金 : (収入合計) - (支出合計) = ¥1,261,252 (対前年差 + ¥423,397)

1.3.1 各三者役職校の支出内訳

- 三者センター校 (名古屋大学)

項目	予算	決算	差額	前年度決算
振込手数料	¥3,300	¥2,775	-¥525	¥880
賞状代	¥0	¥0	¥0	¥1,266
賞状輸送代	¥0	¥0	¥0	¥1,000
合計	¥3,300	¥2,775	-¥525	¥3,146

振込手数料：ホテル利用料、および旅費補助の支払いにかかる振込手数料

賞状代：研究会で優れた発表を行った人への賞状代

賞状輸送代：賞状の輸送代

● 三者準備校 (九州大学)

項目	予算	決算	差額	前年度決算
施設使用料	¥321,230	¥321,230	¥0	¥0
コピー代	¥0	¥0	¥0	¥0
消耗品代	¥20,825	¥61,065	+¥40,240	¥572
ポスター郵送費	¥34,398	¥34,398	¥0	¥22,670
ポスター制作費	¥35,000	¥35,000	¥0	¥0
機材費	¥0	¥0	¥0	¥0
備品送料	¥5,000	¥2,863	-¥2,137	¥1,720
会場下見代	¥206,324	¥206,324	¥0	¥0
Zoom	¥9,708	¥12,046	+¥2,338	¥0
Wi-Fi レンタル	¥0	¥9,544	+¥9,544	¥0
合計	¥632,485	¥682,470	+¥49,985	¥24,962

施設使用料：国立オリンピック記念青少年総合センターを8/17～8/21の間、使用。

備品送料：次年度準備校への備品運搬費（2017年度予算案をもとに算出。）

会場下見代：会場下見にかかる旅費（4人（一人当たり、往復飛行機代40,000+ホテル5000））、および、実際に現地でWiFiルーターとカメラをレンタル代。

ポスター郵送費：各大学への郵送費

ポスター制作費：個人クリエイターへの製作依頼費。相場：【2022年版】媒体別グラフィックデザインの費用相場まとめ！

※前年度など、秋元さんへ依頼した場合には依頼費6万円。消耗品代：運営に必要な文具、およびポスター送付にかかる封筒などの物品購入費

Zoom代：Zoomのアカウント作成費

Wi-Fi レンタル代：zoomのプロアカウント作成費（9708円+2338円）。

● 三者企画校 (大阪公立大学)

項目	予算	決算	差額	前年度決算
優秀発表賞 賞状 (A4) 印刷 (計12枚)	¥5,940	¥6,897	+¥957	¥0
賞状郵送 (レターバックライト) (12枚分)	¥4,440	¥4,400	¥0	¥0
合計	¥10,380	¥10,380	+¥957	¥0

優秀発表賞 賞状 (A4) 印刷 (計12枚) : <https://d-shojo.com/sj/page/price/index.html>

賞状郵送 (レターバックライト) (12枚分) : <https://www.post.japanpost.jp/service/letterpack/>

1.3.2 各パート役職校の支出内訳

- 素粒子論パート準備校 (茨城大学)

項目	予算	決算	差額	前年度決算
32GB SD カード (3 枚)	¥3,234	¥3,234	¥0	¥0
機材送料	¥6,000	¥1,680	-¥4,320	¥1,950
消耗品	¥0	¥0	¥0	¥0
合計	¥9,234	¥4,914	-¥4,320	¥1,950

32GB SD カード 3 枚：録音・録画保存用。(Amazon をもとに算出)

機材送料：夏の学校会場、次年度準備校への機材運送費。(2019 年予算をもとに算出)

消耗品：消耗品(ホワイトボードマーカーなど)の購入費。(2019 年予算をもとに算出)

- 素粒子論パート議事録作成校 (千葉大学)

項目	予算	決算	差額	前年度決算
ビデオカメラ 2 台 (レンタル)	¥20,760	¥21,960	+¥1,200	¥0
三脚 2 台 (レンタル)	¥6,360	¥6,960	+¥600	¥0
ビデオキャプチャー 2 台	¥4,598	¥5,566	+¥968	¥0
マイクロ HDMI ケーブル 2 本	¥1,398	¥0	-¥1,398	¥0
SD カード	¥0	¥3,036	+¥3,036	¥0
合計	¥33,116	¥37,522	+¥4,406	¥0

ビデオカメラ (レンタル)：録画用、テスト期間含め 7 日間

<https://rental-camera.jp/product/sony-4k-fdr-ax30/#description>

三脚 (レンタル)：同上 <https://rental-camera.jp/product/tripod/#description>

ビデオキャプチャー 2 台：カメラを PC に接続するため amazon 商品ページ

- 原子核パート準備校 (筑波大学)

項目	予算	決算	差額	前年度決算
印刷・コピー代	¥2,000	¥0	-¥2,000	¥0
文具代	¥3,000	¥0	-¥3,000	¥0
VGA →タイプ C 変換アダプター	¥0	¥9,480	+¥9,480	¥0
延長コード 10m 2 本	¥0	¥5,660	+¥5,660	¥0
電源を 1 口から 3 口にするアダプター 2 個	¥0	¥506	+¥506	¥0
合計	¥5,000	¥15,646	+¥10,646	¥0

VGA →タイプ C 変換アダプター：会場のプロジェクター接続が VGA 端子のみであり、会場でのレンタルが出来ないため急遽購入した。金額は領収書の通り。

延長コード、10m：Zoom 配信用のビデオカメラに給電するための延長コード。素粒子パートの分も合算。金額は領収書の通り。

電源を 1 口から 3 口にするアダプター：延長コードの口を増やしたかったため購入。素粒子パートの分も合算。金額は領収書の通り。

1 2024 年度予算案

['23/10/20 現在]

文責：渋谷翔之 (名古屋大学)

1.1 収入予定 (概算)

(1) 前年度繰越金 (2023 年度決算終了時の繰越金額を記載) : ¥1,261,252

(2) 参加費 (参加者が 250 名の場合) : ¥4,000 × 250 = ¥1,000,000

(3) 外部団体への援助・協賛申請 (内訳は下表) : ¥950,000

団体名	内容	今年度申請額
素粒子論グループ	旅費補助 *	450,000
基研	講師等旅費, ポスター印刷費 *2	500,000*1
高エネルギー研究者会議	協賛	0
仁科加速器センター	協賛, 原子核研究「夏の学校特集号」出版費 *3	出版費
RCNP	協賛	0
KEK	協賛	0
申請額合計		950,000

(4) 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー コンベンション開催支援 *4 : ¥1,000,000

* 秋季学会で援助申請を行った。素粒子論サブグループは承認を保留。核理論サブグループは承認。

*1 例年どおり申請を1月に行う。

*2 ポスター印刷費は、実際にかかった費用のみが支払われる。

*3 春季学会にて申請予定。

*4 <https://mice.okinawastory.jp/support/convention-subvention/> 採択可否は10月末に通知。

収入合計 : (1) + (2) + (3) = ¥4,211,252

1.2 支出予定 : 各役職校からの予算申請を元に作成、内訳は次節以降に記載。

役職名	今年度予算案	前年度決算額 *1
三者センター校	5,000	2775
三者事務局	0	0
三者準備校	1,131,500	682,470
三者企画校	10,974	11,337
素粒子論パート準備校	10,000	4,914
素粒子論パート講義録校	27,360	37,522
原子核パート校	5,000	15,646
計	1,189,834	754,664

*1 前年度決算は2023年度三者センター校の決算報告に基づいている。

(注.) 他に『学生旅費補助』、『次年度繰越金』、『ポスター印刷費 (上限 10 万円)』、『講師旅費』などがある。

1.2.1 各三者役職校の支出予定項目

- 三者センター校 (有志学生連合)

申請項目	申請額
振込手数料	5,000
申請額合計	5,000

振込手数料：旅費補助の振り込み手数料：5000円 (2023年度予算案をもとに算出)

- 三者準備校 (東北大学)

申請項目	申請額
施設使用料	743,500
コピー代	20,000
備品送料	10,000
会場下見代	89,940
ポスター制作費	100,000
機材費	33,000
消耗品代	5,000
郵送費	25,000
申請額合計	1,131,500

施設使用料：沖縄青年会館を8/5-8/9の5日間使用

コピー代：ポスターや参加受付の際に配布する資料等の印刷費 (2017年度予算案をもとに算出)

備品送料：次年度準備校への備品運搬費 (2017年度予算案をもとに算出)

会場下見代：会場下見にかかる旅費 (4人 (一人当たり、往復飛行機代40,000+ホテル5000))、および現地でWiFiルーターとカメラをレンタルし機能テストを行う費用。

郵送費：各研究室へのポスターの郵送費 (封筒代を含む)、会場への荷物郵送費、次年度引き継ぎ時の事務用品郵送費

ポスター制作費：個人クリエイターへの制作依頼費。相場：<https://www.shisodo.com/?onelog=【まとめ】媒体別グラフィックデザインの費用相※前年度など>、秋元さんへ依頼した場合には印刷費込みで10万円。

機材費：現地でのWiFiルーターとカメラ (2台) のレンタル代。

消耗品代：運営に必要な文具、およびポスター送付にかかる封筒などの物品購入費。(2017年度予算案をもとに算出。)

郵送費：各大学へのポスター郵送費。(2022年度予算案をもとに算出。)

- 三者企画校 (金沢大学)

申請項目	申請額
優秀発表賞 賞状 (A4) 印刷 (計12枚)	6,534
賞状郵送 (レターバックライト)	4,440
申請額合計	10,974

優秀発表賞 賞状 (A4) 印刷 (計12枚)：<https://d-shojo.com/sj/page/price/index.html>

賞状郵送 (レターバックライト):賞状の郵送代。<https://www.post.japanpost.jp/service/letterpack/>

1.2.2 各パート役職校の支出予定項目

- 素粒子論パート準備校 (広島大学)

申請項目	申請額
機材送料	10,000
申請額合計	10,000

機材送料：夏の学校会場、次年度準備校への機材運送費。

- 素粒子論パート講義録校 (京都大学)

申請項目	申請額
録画機材一式	27,360
申請額合計	27,360

録画機材一式：<https://komono.me/rental/product/fdr-ax40-set> 前日の動作確認を含めた6日分のレンタル代。素粒子パートと原子核パートの2台分。

- 原子核パート校

申請項目	申請額
文具代	3,000
コピー代	2,000
申請額合計	5,000

文房具代：ホワイトボードマーカー、ポインター等

コピー代：プログラム、概要集、テキストの予備等の印刷費

目次

1	ローテーション制安定に向けた未決定事項の報告及び提案	1
1.1	議案提出の経緯	1
1.2	2019年度夏の三者総会における決定/未決定事項のまとめ	1
1.3	未決定事項の報告及び新たな提案	2
1.4	予想される質問と回答	3
1.5	最後に	3

1 ローテーション制安定に向けた未決定事項の報告及び提案

2023年10月14日

文責：安藤雄史(筑波大学)

戸田陽(北海道大学)

木野量子(東北大学)

古川裕貴(東京大学)

五十嵐律矩(新潟大学)

神田行宏(名古屋大学)

吉中譲次郎(京都大学)

青木匠門(大阪大学)

阿部元一(九州大学)

1.1 議案提出の経緯

2019年度夏の三者総会において三者センター校及び準備校のローテーション案を始め夏の学校の形態に関するいくつかの変更が提案された。当該議案は、いくつかの詳細は後日改めて関係大学で議論するという条件の下で総会で承認されたが、新型コロナウイルスの感染拡大による夏の学校の中止を始めとした不運により未決定事項は改めて総会で承認を得ることなく今日を迎えた。このような正式な決定が成されなかったことに起因して、関係大学間で行われた会議の決定事項が総会決議のように扱われてしまい、各大学で認識に齟齬が生じ混乱を招いた。本議案は2019年度夏の三者総会で未決定であった細部について正式に提案し、各大学間の齟齬を解消する。

尚、本議案の目的は2019年度の議案で未決定であった事項の決定と有耶無耶になりつつある事項の再確認であり、制度の変更では無いことは明記しておく。従ってローテーション制の詳細や、役職校を引き受けることが出来ない際の対応等は2019年度に提案及び承認された議案の通りであり、本議案内で言及しない点は全て過去の議案に従う。

1.2 2019年度夏の三者総会における決定/未決定事項のまとめ

2019年度夏の三者総会において2018年度事務局校代表の畠山氏より議案が提出され、議案内では夏の学校の存続を保つために以下の3つが提案された。

1. 三者センター校及び準備校のローテーション制度

年度	センター校	準備校
2025	京都	東京
2026	大阪	北海道
2027	九州	名古屋
2028	東北	新潟
2029	東京	京都
2030	北海道	大阪
2031	名古屋	九州
2032	新潟	東北
2033	京都	東京
⋮	⋮	⋮

表1 三者センター校及び準備校ローテーション表

2. 開催地の固定及び、運営側学生の金銭的補助

3. 夏の学校の形態の変更

提案1は承認されたが、ローテーションの順番は未決定であった。提案2も承認されたが、開催地をどこに固定するかは未定であった。提案3は部分的に承認され、当時5泊6日で行われていた夏の学校の開催日程を削減するという運営方針が決まった。

1.3 未決定事項の報告及び新たな提案

前節で記載した未決定事項を以下の通り決定する。

- ローテーションの順番
三者センター校及び準備校のローテーションを表1の通り決定する。三者センター校及び準備校以外の役職校を選定する際には、可能な限りローテーション校へ依頼する状況を避ける。
- 開催地の固定
2025年度夏の学校から、開催地を国立オリンピック記念青少年総合センターに固定する。

以上の決定に加えて以下の3つを提案する。

- ローテーションの変更
三者センター校及び準備校は、原則として夏の学校開催2年前の夏の三者総会で承認され、ローテーションを担当できない場合は遅くとも当該総会までに議案を提出する。当該総会までにローテーションを担当出来ない理由について合意を得られず議案が承認されない場合は、担当大学は責任を持って役職校を務める。
- 開催地の変更
開催地の変更を行う場合は三者総会の承認を得る。その際、議案提出者は変更に伴い学生が宿泊先を確保出来るか、金銭的・時間的余裕は十分あるか、後援・協賛団体の理解を得ることが出来るか等を役職校とよく検討のうえ議案を提出する努力義務を負う。
- 開催日程
夏の学校の開催日程を3泊4日以上とし、過去のように6日以上開催するか否かは担当役職校の裁量に

委ねる。

1.4 予想される質問と回答

- Q. 2022年度夏の三者総会では議案が出されたが新潟大学はローテーションから抜けないのか？
- A. 当該議案は2024年度三者センター校に関するのみであり現時点ではローテーションから抜けていない。今後ローテーションから抜けるか否かは本議案では考えていない。
- Q. この議案は2022年度夏の三者総会で提出された有志学生連合案と矛盾しないか？
- A. 当該議案はあくまで2024年度の三者センター校を有志学生に委ねる議案であり本議案とは趣旨が異なる。また、例えば三者準備校及びセンター校を完全に有志学生に委ねることを想定したとしても、実現には長い時間がかかるため当分の間ローテーション制は重要な位置を占め、未決定事項を決定することは必要である。
- Q. ローテーション校を三者センター校及び準備校以外の役職校免除しないのは何故か？
- A. YONUPA登録大学の内、原子核パートの研究室は少なく、ローテーション校を免除とすると極少人数しか在籍しない研究室で2年に一度程度の頻度で担っていただくことになる。また、そのような研究室はいつ学生数が0になるかわからない点が懸念される。ローテーション校は次回担当年度がわかっており、その他の役職校を必ず引受ける義務は無いため当事者間の裁量に委ねることにした。
- Q. 開催地変更総会決議が必要になると、施設が取れなかった際や急な災害が起こった際に問題が生じないか？
- A. 2021年度及び2022年度の秋の総会では三者準備校から開催案が提出されており、施設確保に問題が生じたとしても秋の総会で開催地変更の議案を出すことは可能と考える。また、ローテーション変更と異なり開催地変更は変更期限を設けていないため、秋の総会後に急な問題が生じたとしても臨時総会を開催することで対応可能である。
- Q. 開催地としてオリンピックセンターを選んだのは何故か？
- A. 場所が東京都内であるため、交通の便がよい。また食事はチケット制なので食事のときに受付が必要なく、活動を行う部屋も様々なサイズがある。以上の理由から、役職校の業務負担が少ない開催地としてオリンピックセンターが妥当であると判断した。
- Q. 過去の総会で決まった、開催日数削減の方針と反する6日以上を許容する提案をするのは何故か？
- A. 当時、日数削減の案が出た理由は役職校の負担軽減と記載がある。しかし近年、キャリアパスセミナーや口頭発表の希望者が増加する等のことから過去の議案に反しないようにタイムスケジュールを組むことが難しくなっており、役職校の負担軽減のための提案が将来的に役職校の首を絞めかねない。一方、開催日程を4日以上とすることで最低限の日数を確保したうえで役職校の裁量で決定できるため負担軽減という本来の趣旨は変わらない。

1.5 最後に

前述の通り、原子核三者夏の学校を持続的に開催するために過去の総会では三者役職校の仕事量を減らす方針が打ち立てられました。この方針に基づき三者センター校、準備校を始め全ての役職校の中でマニュアル作成やその他負担軽減のための取り組みが行われており、役職によっては研究室の在籍人数が1人しかいない超小規模研究室でも担当できるように改善されています。

本議案をきっかけに、夏の学校は学生全員で作るものであるということを再度認識し、大規模研究室から小規模研究室まで全国の学生協力の下、夏の学校が継続されることを強く願います。